

政務活動報告書

会派名 奏望会

年 月 日	令和 6 年 10 月 23 日 ~ 6 年 10 月 24 日																																
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	10月24日(木) 午前10時15分～ 防衛省 空幕大会議室(東京都新宿区市谷本村町5-1 A棟17階) 新青森駅 ～ 東京駅(東京都1泊) ～ 新青森駅																																
相手方 (会議名等)	統合幕僚長 陸将 吉田 圭秀氏、大臣官房 施設監 茂籠勇人氏 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望活動																																
参加議員名	坂本 崇、齋藤 豪、工藤賢生																																
活動の概要	別紙のとおり ※会議・研修資料等があれば、添付してください。																																
活動に要した経費	<table border="1"><thead><tr><th>主な品目</th><th>政務活動費相当額</th><th>領収書番号</th><th>支払証明書番号</th></tr></thead><tbody><tr><td>旅費(交通費及び宿泊費) @49,500×3</td><td>148,500円</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td></td><td>円</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>円</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>円</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>円</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>円</td><td></td><td></td></tr><tr><td>合計額</td><td>148,500円</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	主な品目	政務活動費相当額	領収書番号	支払証明書番号	旅費(交通費及び宿泊費) @49,500×3	148,500円	1			円				円				円				円				円			合計額	148,500円		
主な品目	政務活動費相当額	領収書番号	支払証明書番号																														
旅費(交通費及び宿泊費) @49,500×3	148,500円	1																															
	円																																
	円																																
	円																																
	円																																
	円																																
合計額	148,500円																																
備 考	(写真貼付等) 別紙のとおり																																

令和6年10月30日

弘前市議会 奏望会 坂本 崇

令和6年度政務活動報告

陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望活動報告

1. 活動日時 令和6年10月24日(木) 10:15～

2. 場 所 東京都新宿区市谷本村町5-1 防衛省 A棟17階

3. 相手方 総合幕僚長 陸将 吉田圭秀 氏
大臣官房 施設監 茂籠勇人 氏

4. 参加者 【弘前市議団】
尾崎寿一議長 清野一榮議員 松橋武史議員 野村太郎議員
木村隆洋議員 石山 敬議員 蛭名正樹議員 齋藤 豪議員
坂本 崇議員 竹浪 敦議員 工藤賢生議員

【関係団体】

櫻田 宏 弘前市長
今井高志 弘前商工会議所会頭
清藤 崇 弘前商工会議所副会頭
工藤武重 弘前市防衛協会会長
三上知彦 青森県隊友会中弘支部長

他随行者4名

5. 要望内容

国の新たな戦略体系が策定され部隊再編が行われたことにより、弘前駐屯地も人員が削減された。

弘前駐屯地は災害支援、まつりへの隊員の参加協力等も含め地域経済の観点からも弘前市にとってなくてはならない存在であることから、体制の維持と一層の強化を求める要望書を弘前市と関係5団体連名で防衛相大臣官房施設監へ手渡した。

以上

令和6年10月30日

弘前市議会 奏望会 齋藤 豪

陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望活動に対する報告書

1. 日 時 令和6年10月24日(木) 10:15～

2. 場 所 東京都新宿区市谷本村町5-1 防衛省A棟17階

3. 相手方 総合幕僚長 陸将 吉田圭秀 氏
大臣官房 施設監 茂籠勇人 氏

4. 参加者 【弘前市議団】

尾崎寿一議長、清野一榮議員、松橋武史議員、野村太郎議員
木村隆洋議員、石山 敬議員、蛭名正樹議員、齋藤 豪議員
坂本 崇議員、竹浪 敦議員、工藤賢生議員

【関係団体】

弘前市長、弘前商工会議所会頭、副会頭
弘前市防衛協会会長、青森県隊友会中弘支部長
他随行者4名

5. 内 容

私自身、陸上自衛隊弘前駐屯地は、原ヶ平と極めて近い町内にあって、日頃より関わる機会も多く地元町会での、援農ボランティアや駐屯地開放事業等に関わりの深いことから、駐屯地機能の体勢の縮小等の情報を聞くにつけ、様々な地域や地元の影響を考慮して、要望活動の必要性を考えた活動です。

弘前市の祭りにおいても、駐屯地隊員の参加が市民に深く受け入れられており、市中パレードにおいても同様の市民に与える経済効果や影響は、大きいものと考えます。

よって今回の要望活動が必要と考えたものです。

今後とも機会を捉えて、続けていきたい思います。

以上報告とさせていただきます。

令和6年10月30日
弘前市議会 奏望会 工藤 賢生

令和6年度政務活動について、下記のとおり報告します。

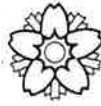
記

1. 日程 令和6年10月23日(水)～10月24日(木) 1泊2日
要請日時 10月24日(木) 午前10時15分～
2. 行先 東京都新宿区市ヶ谷本村町5-1 防衛省A棟17階
3. 目的 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望活動
 - (1) 防衛省 総合幕僚長 陸将 吉田圭秀
大臣官房 施設監 茂籠勇人
 - (2) 弘前市 市長 櫻田宏
議長 尾崎寿一
議員 清野一栄、松橋武史、野村太郎、木村隆洋、石山敬、
蛸名正樹、齋藤 豪、坂本 崇、竹浪敦、工藤賢生
団体 弘前商工会議所会頭及び副会頭
弘前防衛協会会長
青森県隊友会中弘支部長
4. 要望内容

令和3年度、防衛省の戦略体系の改正による部隊再編に伴い、弘前駐屯地の人員が削減。

弘前駐屯地は、防衛・警備は基より、地域の災害支援、各種祭り等への参加協力に加え、地域経済を支える観点から、弘前市において重要な機関。

このため、弘前駐屯地の体制維持及び強化を求める要望書により防衛省総合幕僚長に要請。



統合幕僚長

陸将 吉田圭秀

〒162-8801
東京都新宿区市谷本村町五番一号
TEL: 03(5362)4850(直通) 内三〇〇〇〇



防衛省
MINISTRY OF
DEFENSE

大臣官房 施設監

もろ はや と
茂 籠 勇 人

博士(工学)

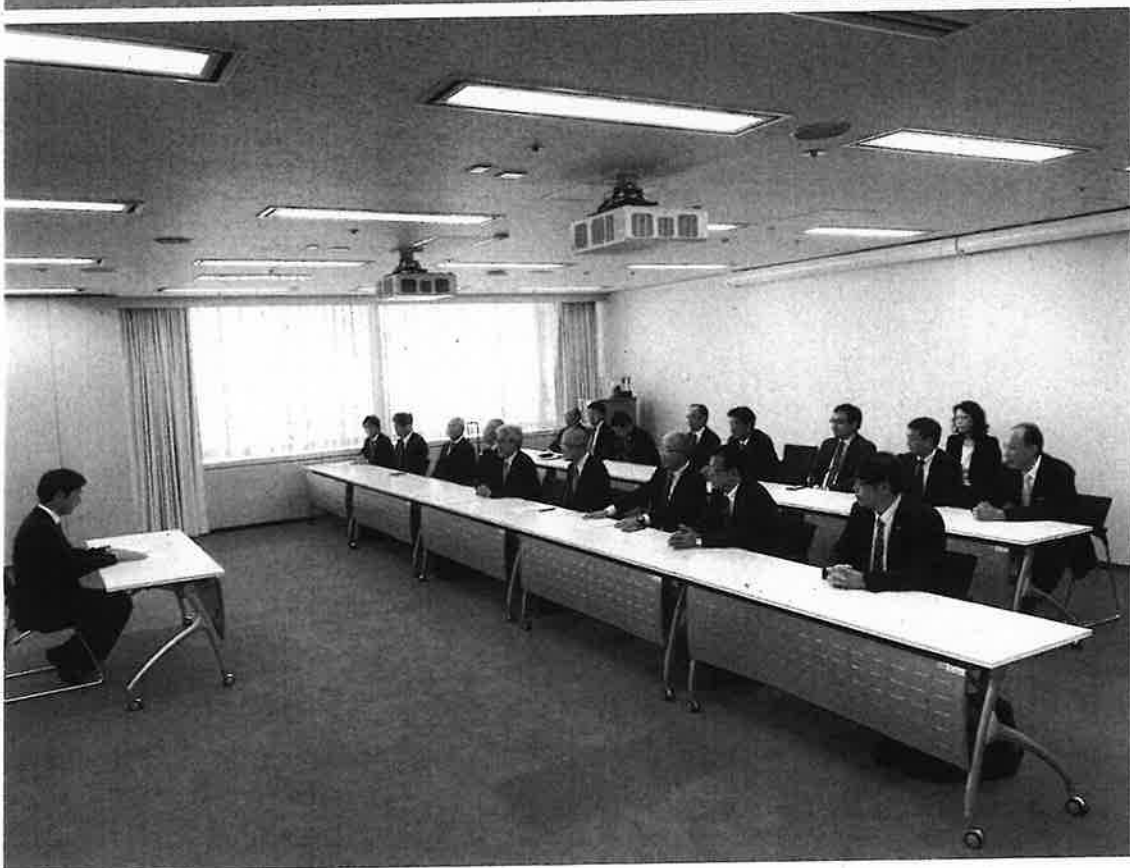
〒162-8801

東京都新宿区市谷本村町5-1

TEL: 03(5362)4850(直通) 公用携帯: [REDACTED]

E-Mail: [REDACTED]







様

要望書



令和6年10月24日

弘 前 市
弘 前 商 工 会 議 所
弘前市議会議員有志による防衛議員連盟
防衛協会津軽地区連絡協議会
弘 前 市 防 衛 協 会
青 森 県 隊 友 会 中 弘 支 部
弘 前 市 自 衛 隊 家 族 会

陸上自衛隊 弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望

武力によるロシアのウクライナ侵攻、中国による尖閣諸島周辺への領海侵入、北朝鮮による弾道ミサイル発射等、国際社会においては、地域紛争や国際テロなどが後を絶たず、我が国においても、取り巻く安全保障環境はより一層厳しさを増しております。

弘前駐屯地は、商工会議所が中心となり市民活動によって誘致し、昭和43年に開設されました。地域と共に歩んできた弘前駐屯地は、防衛だけではなく、災害時の支援のほか、まつりへの参加・協力など、地域経済の観点から地元にとってはなくてはならない存在であります。

一昨年、防衛に係る新たな戦略体系が策定され、自衛隊の配備についても再編が行われていると認識致しております。これまで弘前市民と共に歩んできた弘前駐屯地の体制を維持し、更なる強化をしていただくことを要望いたします。

令和6年10月24日

弘 前 市 市 長 櫻田 宏

弘 前 商 工 会 議 所 会 頭 今井 高志

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟 会 長 尾崎 寿一

防 衛 協 会 津 軽 地 区 連 絡 協 議 会 会 長 工藤 武重
弘 前 市 防 衛 協 会

青 森 県 隊 友 会 中 弘 支 部 支部長 三上 知彦

弘 前 市 自 衛 隊 家 族 会 会 長 工藤 冬一